

認定特定非営利活動法人アレルギー支援ネットワーク

2016年度 事業計画書

I. 事業実施の方針

- ①組織・財政の基盤強化をする。
- ②アレルギー大学事業および栄養士派遣事業を基盤事業として発展させる。

II. 事業の実施に関する事項

1. 特定非営利活動に係る事業

(1) 情報の普及・啓発・交流事業

各地で行われる「会」の交流会、講演会、ホームページ、メルマガなどを通してアレルギーに関する科学的知識の普及啓発及び交流を行う。

1) アレルギーの会支援事業

①会の設立と活動を支援する事業

(ア) 事業内容

- * 保健所・保健センターなど地域の保健機関と連携をして、既存の会の活動支援と、要望の強い地域があれば会の新規設立支援をする。名古屋市内の患者会については、各区の保健所と連携した支援ができるよう働きかけを強化する。
- * 「名古屋市内連絡会」を発展させ、「小中学生をもつ親の会」を定期的に開催(年3-4回)し、給食問題などアレルギー施策の向上をめざし、各地の患者会が自治体に要望を出せるように支援する。
- * 各会が運営資金を得ることができるよう、小口の助成金収入と物品販売活動を通して会の収入が増えるよう援助する。
- * 「東海アレルギー連絡会」の事務局として、大規模災害に備えた広域的な連携をおこなう組織に発展できるようサポートする。

②スタッフ、リーダー育成事業

(ア) 事業内容

アレルギーの会を支えるリーダーのスキルアップを図るため、アレルギー大学基礎・初級以上に参加するリーダー(各会3人以内/年)の資料代などを免除し、中級以上の受講については交通費も補填する。

又、スタッフもスキルアップをはかるため、学会や研究会に参加をする。

①②を総合的に企画運営する。

- (イ) 実施予定日時及び場所 随時、東海4県内の各患者会の支援(のべ40回/週1回程度)
- (ウ) 従事者の予定人数 5人
- (エ) 受益対象者の範囲および予定人数 会員および一般患者・家族 多数
- (オ) 収入見込み額 ￥ (千円)
- (カ) 支出見込み額 ￥ (千円)

2) ホームページ・メールマガジンによるWeb情報の提供

(ア) 事業内容

- ① HPの情報の追加と更新をタイムリーに行う。
- ② 法人会員中心に広告の募集をする。
- ③ facebook、gooddo(ソーシャルグッドプラットフォーム)に定期的に活動報告をする。

(イ) 予定日時・場所: 事務所・随時

(ウ) 従事者の予定人数: 毎月2人(ホームページ管理者、補助者)

(エ) 対象者の範囲および予定人数: 不特定多数を対象。

(オ) 収入見込み額 ￥ 1,000(千円)/年

(カ) 支出見込み額 ￥ 1,000(千円)/年

3) 講演会・講習会の開催および講師派遣事業

(ア) 事業内容

アレルギーなどに関わる科学的知識や実生活に役立つ情報を広げる講演会や講習会を行う。
また、自治体や企業からの依頼に応じ講師を派遣する。

(イ) 実施予定日時及び場所 年50回の開催および講師派遣を予定、
各地の公共施設、あいち小児保健医療総合センター、名古屋国際会議場

(ウ) 従事者の予定人数 3人

(エ) 受益対象者の範囲および予定人数 不特定多数を対象。

(オ) 収入見込み額 ￥ 1,800 (千円) / 年

(カ) 支出見込み額 ￥1,800 (千円) / 年

① 「アナフィラキシー対応とアドレナリン自己注射器の講習会」(あいち小児保健医療総合センター)
食物アレルギー児の誤食事故の対策として園や学校の教職員などから要望の多い講習会を年に3~4回
程度開催する。その他、ニーズに応じたテーマの講座を新規に開講する。

② 講演会講師の派遣

自治体や企業からの依頼に応じ、アレルギー専門医・管理栄養士など講師の派遣を行う。

③ アレルギーっ子のフェア開催 (2017年3月19日(日)名古屋国際会議場 展示室)

④ 各地の患者会が主催する講演会に協力する

4) アレルギー相談事業

(ア) 事業内容

① E-mailや電話による相談

ホームページなどの閲覧者や園や学校などから、Eメールや電話によるアレルギーなどの相談に対し
て各分野の専門家などによるアドバイス活動を行う。

(イ) 実施予定日時及び場所 随時 場所；事務所など

(ウ) 従事者の予定人数 6人

(エ) 受益対象者の範囲および予定人数 会員および一般患者・家族 多数

(オ) 収入見込み額 ￥ (千円)

(カ) 支出見込み額 ￥ (千円)

5) アレルギー大学修了生(マイスター・サポーター)による地域ミニ講座

(ア) 事業内容

① マイスターやサポーターがアレルギー大学のDVDを利用し地域でミニ講座を開催する仕組みを構築する。

② 地域の「会」への支援を行う「サポーター」の育成をはかり、「サポーター」の組織化を図る。

③ マイスター・サポーター会議を年に2回程度開催し、患者支援に関する取り組みを検討する。

(イ) 実施予定日時及び場所 随時

(ウ) 従事者の予定人数 1人

(エ) 受益対象者の範囲および予定人数 一般患者・家族 多数

(オ) 収入見込み額 ￥ (千円)

(カ) 支出見込み額 ￥ (千円)

6) アレルギー患者家族支援事業

(ア) 事業内容 自治体からの受託事業として、アレルギー患者家族の支援を行う。

- ① 名古屋市公害保健課が主催する、自己管理支援教室(小学生ぜん息教室およびぜん息親子教室)において患者家族の交流会を担当する。
- ② 愛知県教育委員会「学校給食における食物アレルギー対応に関する検討委員会」の委員を務める。

(イ) 実施予定日時及び場所 随時

(ウ) 従事者の予定人数 8人

(エ) 受益対象者の範囲および予定人数 一般患者・家族 多数

(オ) 収入見込み額 ￥500 (千円)

(カ) 支出見込み額 ￥500 (千円)

(2) 専門職の育成支援事業

1) 「アレルギー大学」事業

(ア) 事業内容

① 「アレルギー大学」

愛知、新潟、千葉、京都、沖縄 各会場にて開講する。

千葉会場は、「NPO法人千葉アレルギーネットワーク」、京都は、「NPO法人アレルギーネットワーク京都 びいちゃんねっと」、沖縄は「アレルギー対応沖縄サポートデスク」が独立採算で運営をする。

② 「アレルギー大学ベーシックプログラム」

栄養士や保育士養成校の学生および一般を対象に、アレルギー大学基礎講座を1日に凝縮して実施し、修了認定証を発行する。

③ 第13期アレルギー大学に向けたカリキュラム・テキストの「大改革」

「新カリキュラム策定会議」を新設し、第13期アレルギー大学の講座内容について検討する。

新カリキュラムの骨格を決めた上で、新テキストの編集 についても検討をすすめる。

(イ) 実施予定日時及び場所

実施予定日時 6月～12月

アレルギー大学・・・愛知県、新潟県、千葉県、京都府、沖縄県 各会場

アレルギー大学ベーシックプログラム・・・

愛知県(名古屋短期大学)、新潟県(新潟大学)、三重県(公共施設)、岐阜県(長良医療センター)、静岡県(公共施設)で開講をする。

(ウ) 従事者の予定人数 6名

(エ) 受益対象者の範囲および予定人数 会員および一般患者・家族 多数

(オ) 収入見込み ￥ 12,600 (千円)

(カ) 支出見込み ￥ 12,600 (千円)

2) 「インターネットアレルギー大学」事業

(ア) 事業内容

第9期アレルギー大学の講座をインターネットで配信する。

今までのパンフレット配布による広報を見直し、HPの掲載方法を再検討し効果的な広報をする。

(イ) 実施予定日時及び場所 随時、個別受講

(ウ) 従事者の予定人数 6 名

(エ) 受益対象者の範囲および予定人数 会員および一般患者・家族 多数

(オ) 収入見込み ￥1,000 (千円)

(カ) 支出見込 ￥1,000 (千円)

3) アレルギー教本普及事業

(ア) 事業内容

保育園・学校などが行うアレルギー給食の担い手である栄養士、調理員、保育士、教員など専門職を対象に、食物アレルギーの手引書「これだけでわかる食物アレルギー～基礎的な知識から専門的な対応まで～」を出版・普及する。

- (イ) 実施予定日時及び場所 随時、事務所
- (ウ) 従事者の予定人数 5人
- (エ) 受益対象者の範囲および予定人数 会員および一般患者・家族 多数
- (オ) 収入見込み額 ￥ (千円) 関連商品普及販売事業に含む
- (カ) 支出見込み額 ￥ (千円)

(3) 調査研究事業

1) 自主研究事業

今年度は実施しない。

2) 共同研究事業

① 外食産業調査研究事業（名芸大共同調査）

(ア) 事業内容

名古屋学芸大学（和泉教授）と協同でおこなった外食産業の実態調査をもとにしたマニュアルを、ホテル・旅館で汎用できる内容にし、HPに掲載。広く一般に活用をしてもらう。

- (イ) 実施予定日時及び場所 随時、事務所
- (ウ) 従事者の予定人数 3人
- (エ) 受益対象者の範囲および予定人数 会員および一般患者・家族 多数
- (オ) 収入見込み額 ￥ (千円)
- (カ) 支出見込み額 ￥ (千円)

② ひやりはっと事例集積研究事業

(ア) 事業内容

藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院アレルギーセンター・近藤康人教授と協働で、アレルギー疾患に関する「ひやりはっと事例」を常時収集、解析し、教育関連施設事故防止などに役立てていただく。

今年度は、「ひやりはっと事例集2016」作成に向けて、事例の収集を行う。（委託事業）

- (イ) 実施予定日時及び場所 ホームページでの日常的な収集
- (ウ) 従事者の予定人数 5人
- (エ) 受益対象者の範囲及び予定人数 会員及び一般患者・家族 多数
- (オ) 収入見込額 ￥ 230 (千円)
- (カ) 支出見込額 ￥ 230 (千円)

③ 学童保育におけるアレルギー対応の実態調査、および、アレルギー研修の開催と「アレルギー対応の手引き」作成事業（あいちモリコロ基金 平成 27 年度大規模活動助成金事業（愛知県学童保育連絡協議会との共催事業）・平成 27 年度～平成 29 年度 3 年間事業）

（ア）事業内容：

- ① 学童保育施設におけるアレルギー対応状況の実態調査（平成27年度実施済み）
- ② アレルギー研修会の実施（平成27年度～平成29年度）
- ③ 「アレルギー対応の手引き」作成（平成28年度）

（イ）実施予定日時及び場所：随時、事務所

（ウ）従事者の予定人数：3名

（エ）受益対象者の範囲及び予定人数：学童保育関係者 多数

（オ）収入見込み ￥ 1,660 （千円）

（カ）支出見込み ￥ 1,660 （千円）

④ 大学間連携共同教育推進事業（名古屋学芸大学との共同事業）

（ア）事業内容：「愛知県内教員養成高度化支援システムの構築」事業において、名古屋学芸大学・管理栄養学部 和泉秀彦教授に協力をする。

（イ）実施予定日時及び場所 随時：事務所

（ウ）従事者の予定人数：2人

（エ）受益対象者の範囲および予定人数：会員および一般患者・家族 多数

（オ）収入見込み額 ￥ 200 （千円）

（カ）支出見込み額 ￥ 200 （千円）

3) 受託事業

①臨床研究事業

（ア）事業内容

麹菌発酵大豆培養物のアトピー性皮膚炎に対する有用性と安全性に関する研究

（ニチモウバイオティックス株式会社の受託研究事業）

ImmuBalanceの機能性表示を目標とした臨床試験。

軽度のアトピー性皮膚炎を有する18歳以上の成人男女50人。

試験食品又はプラセボを6か月間摂取して、湿疹の改善効果を検討する。

近藤康人教授（藤田保健衛生大学坂文種報徳会病院・アレルギーセンター）が受託した研究に対して、研究協力者として参加する。本研究において、対象者の募集及び受診案内、診察補助員の派遣、データ整理の補助、謝金の支払いなどを担当する。

実施期間・2年間（2016年5月～2018年3月）

（イ）実施予定日時及び場所 随時：坂文種報徳会病院・アレルギーセンター、事務所

（ウ）従事者の予定人数：2人

（エ）受益対象者の範囲および予定人数：会員および一般患者・家族 多数

（オ）収入見込み額 ￥2,500 （千円）

（カ）支出見込み額 ￥2,500 （千円）

②グループインタビュー・モニター受託事業

（イ）事業内容：患者家族のQOL向上のためのアレルギー関連商品開発に協力する事業として、アレルギー患者家族に対するグループインタビューやモニター調査を受託する。

（イ）実施予定日時及び場所 随時：事務所

（ウ）従事者の予定人数：2人

（エ）受益対象者の範囲および予定人数：会員および一般患者・家族 多数

（オ）収入見込み額 ￥ 500 （千円）

（カ）支出見込み額 ￥ 500 （千円）

③食物アレルギーに関する医学論文(系統的レビュー)をリスト化し、一般向けの要約をつけてWebsite上でその情報を公開する事業

(ア) 事業内容：臨床研究の結果は患者を含めた一般市民に周知することを目的とする。国内外でこれまでに報告されている食物アレルギーに関する医学論文(系統的レビュー)をリスト化し、一般向けの要約をつけてWebsite上でその情報を引き続き公開する。

(イ) 実施期間:2015年6月30日～2025年6月30日

(ウ) 従事者の予定人数 3人

(エ) 受益対象者の範囲及び予定人数 一般市民および医学系研究者(患者および医師も含む) 多数

(オ) 収入見込額 ￥ (千円)

(カ) 支出見込額 ￥ (千円)

(4) 災害救援及び防災対策事業

1) 災害に備える事業

(ア) 事業内容

- ① 各地の患者会が、平常時から自助・共助・公助の仕組みを作っておくためのサポートをする。
- ② 東海アレルギー連絡会の事務局として、防災対策に関する司令塔の役割を果たす。
- ③ 東海アレルギー連絡会と協働して、新規設立の患者会を中心にアレルギーっ子の災害対策のための啓発事業を実施する。(真如苑助成金事業・申請中)
- ④ メルマガ登録(安否確認配信ツール)の促進と緊急時のおねがいカードの普及をする。

(イ) 実施予定日時及び場所 随時、 事務所

(ウ) 従事者の予定人数 5人

(エ) 受益対象者の範囲および予定人数 会員および一般患者・家族 多数

(オ) 収入見込み額 ￥ (千円)

(カ) 支出見込み額 ￥ (千円)

2) 災害ボランティアなどの団体と協同する事業

(ア) 事業内容

「震災がつなぐ全国ネットワーク」や東海地域の災害ボランティア団体・NPOと協同し、アレルギー患者家族の要支援対策の必要性を伝え、その具体化をすすめる。

(イ) 実施予定日時及び場所 随時、事務所他

(ウ) 従事者の予定人数 3名

(エ) 受益対象者の範囲および予定人数 会員および一般患者・家族 多数

(オ) 収入見込み ￥ (千円)

(カ) 支出見込み ￥ (千円)

3) 他地域で発生する大規模災害に備えた救援事業

(ア) 事業内容

他地域で大規模災害が起きた場合のアレルギー患者の支援については、平常時から他地域団体と災害対策の情報交換および相互支援体制の確立ができるよう啓発活動を行う。他地域で災害が起きた場合は、事務局に災害対策委員会を立ち上げ他団体(災害NPO・小児アレルギー学会・患者会・自治体など)と連携をして支援活動を行う。

- (イ) 実施予定日時及び場所 随時、事務所他
- (ウ) 従事者の予定人数 3名
- (エ) 受益対象者の範囲および予定人数 会員および一般患者・家族 多数
- (オ) 収入見込み ￥ (千円)
- (カ) 支出見込み ￥ (千円)

(5) 関連用品の販売普及事業

(ア) 事業内容

① 共同購入物品販売事業

書籍販売を中心として、関連用品のキャンペーンや特別販売を定期的に行う。
各地の患者会に参加し、会の活動支援としての共同購入の仕組みを周知する。

② 「ホントに美味しい食物アレルギー攻略法」(仮題) 小冊子普及事業

これまでの集団調理と患者指導の中で蓄積してきたアレルギー対応レシピをベースとして、食物アレルギーの患者や給食担当者が利用できるレシピ集を制作、販売する。除去食レシピだけでなく、除去から解除に向かって利用できるレシピ集とする。

オールカラー 150ページ、1冊2500円、第1刷1000部目標

- (イ) 実施予定日時及び場所 随時、事務所
- (ウ) 従事者の予定人数 5人
- (エ) 受益対象者の範囲および予定人数 会員および一般患者・家族 多数
- (オ) 収入見込み額 ￥7,000 (千円)
- (カ) 支出見込み額 ￥7,000 (千円)

(6) 医療機関への栄養士派遣事業

(ア) 事業内容：医療機関と委託契約を結び栄養・食事指導及び食物負荷試験の介助を行う。本年度も、従事者育成のため対象者の開拓をし、随時あいち小児保健医療センターアレルギー科での研修を行っていく。また、現在の派遣先で月の契約件数を増やしていく。

指導は、アレルギー大学を修了、またはそれに相当する管理栄養士で、非常勤栄養士 5名が担当する。

- (イ) 実施予定日時及び場所：契約先医療機関 月 1～5回
- (ウ) 従事者の予定人数 5名
- (エ) 受益対象者の範囲及び予定人数：医療機関受診患者・患者家族 多数
- (オ) 収入見込み ￥ 4,210 (千円)
- (カ) 支出見込み ￥ 4,210 (千円)

II. その他の事業

(1) ベットマットの販売事業は従来どおりアレルギーの分野のみとし、その他の事業は行わない。

(2) 愛知県職員の「2年目現場体験研修(NPO)」受け入れの協力(7年次目)

愛知県に入職して2年目となる職員の「NPO活動を体験する」研修として、7月から12月の期間、18人の研修生を受け入れる。